

善光寺

日本忠靈殿







佛光寺日本堂  
本堂は、平安朝の建築様式を  
模したもので、明治二十  
九年（一九〇六年）に創  
設された。本堂には、  
釈迦牟尼の坐像が安置  
されている。また、本  
堂の周囲には、多くの  
石灯籠が並び、静かな  
雰囲気を醸成している。



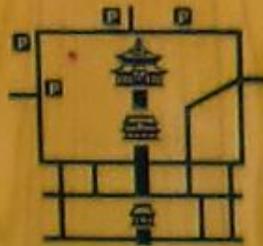
CHUREI DINNWK MEMORIAL PAGODA

寺名：法隆寺  
This memorial pagoda, known as the Churei Dinnwak Memorial Pagoda, was built in 1906. The original one was built in 1906, having been destroyed in 1945. The location of the memorial is in the park.



## 善光寺日本忠霊殿

戊辰戦争から第二次世界大戦までの戦争で亡くなった、約二百四十万柱の英霊を祀る仏式霊廟です。明治三十九年（一九〇六年）に創建され、昭和四十五年（一九七〇年）に現在の姿に改築されました。一階には善光寺ゆかりの宝物を展示する「善光寺史料館」が併設されています。



### CHUREI DEN(WAR MEMORIAL PAGODA)

忠魂殿 / 忠魂殿

This memorial pagoda holds the ashes of those who have perished in war. The ashes of 2.4 million war dead from the past 150 years are enshrined here. The original one was built in 1906. Existing building has reconstructed in 1970. The museum of Zenkoji-related items is in the 1st floor.







本堂(国宝)













正面の向拝屋根の修理中であった



国家善光寺本堂正面向拝屋根一部修復工事



発注者 宗教法人 善光寺  
施工 北野建設株式会社

右側にスロープがあります



安全確保のお願い  
作業中、周囲の安全確保のため、作業区域の立ち入り禁止とさせていただきます。  
ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。  
北野建設株式会社 安全課





# 善光寺本堂

国宝



善光寺の本堂は、皇極天皇元年（六四二年）の創建以来十数回の火災に遭っており、現在の建物は宝永四年（七〇七年）の再建です。間口は約二十四メートル、奥行は約五十四メートル、高さは約二十六メートルあり、江戸時代中期を代表する仏教建築として国宝に指定されています。本尊を祀る仏堂に、参拝者のための礼堂が繋がった特殊な形をしており、棟の形が鏡を挿く丁字型の道具・撞木に似ていることから「撞木造り」と呼ばれます。国宝建造物の中では東日本最大、檜皮葺建造物の中では日本一の規模を誇る巨大な建物です。床下には約四十五メートルの暗闇の回廊があり、秘仏のご本尊・善光寺如来さまと結縁する「お戒壇めぐり」をすることができます。

## Hondo (Main Hall)

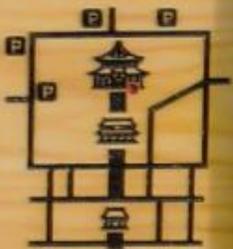
WAKUSAI, THE GREAT HALL (designated in 1907)

本堂 / 正殿

Zenkyo was founded about 1400 years ago. According to old records, Zenkyo burned down several times and the present main hall was reconstructed in 1707. It is one of the biggest wooden buildings in Japan and is a very unique Buddhist temple building of the Edo Era (1600-1867). The main hall is comprised of two parts, the worshipping part and the worshiper's part. The roof looks T-shaped (Shunoku-bari) as you see it from up above. Under the main altar is a pitch-dark tunnel called "Okaido". Touching the "Key to Pure-Land" while passing through the tunnel will bless a strong tie with the main image (Hyonu) and promise to Pure-land.

# 善光寺本堂

国宝



善光寺の本堂は、皇極天皇元年（六四二年）の創建以来十数回の火災に遭っており、現在の建物は宝永四年（一七〇七年）の再建です。間口は約二十四メートル、奥行は約五十四メートル、高さは約二十六メートルあり、江戸時代中期を代表する仏教建築として国宝に指定されています。

本尊を祀る仏堂に、参拝者のための礼堂らいどうが繋がった特殊な形をしており、棟の形が鐘を撞くT字型の道具・撞木しうちくに似ていることから「撞木造り」と呼ばれます。国宝建造物の中では東日本最大、檜皮葺建造物の中では日本一の規模を誇る広大な建物です。

床下には約四十五メートルの暗闇の回廊があり、秘仏のご本尊・善光寺如来さまと結縁する「お戒壇めぐり」をすることができます。





















経蔵(重要文化財)





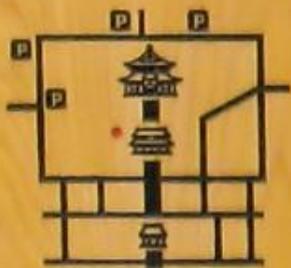






## 輪廻塔

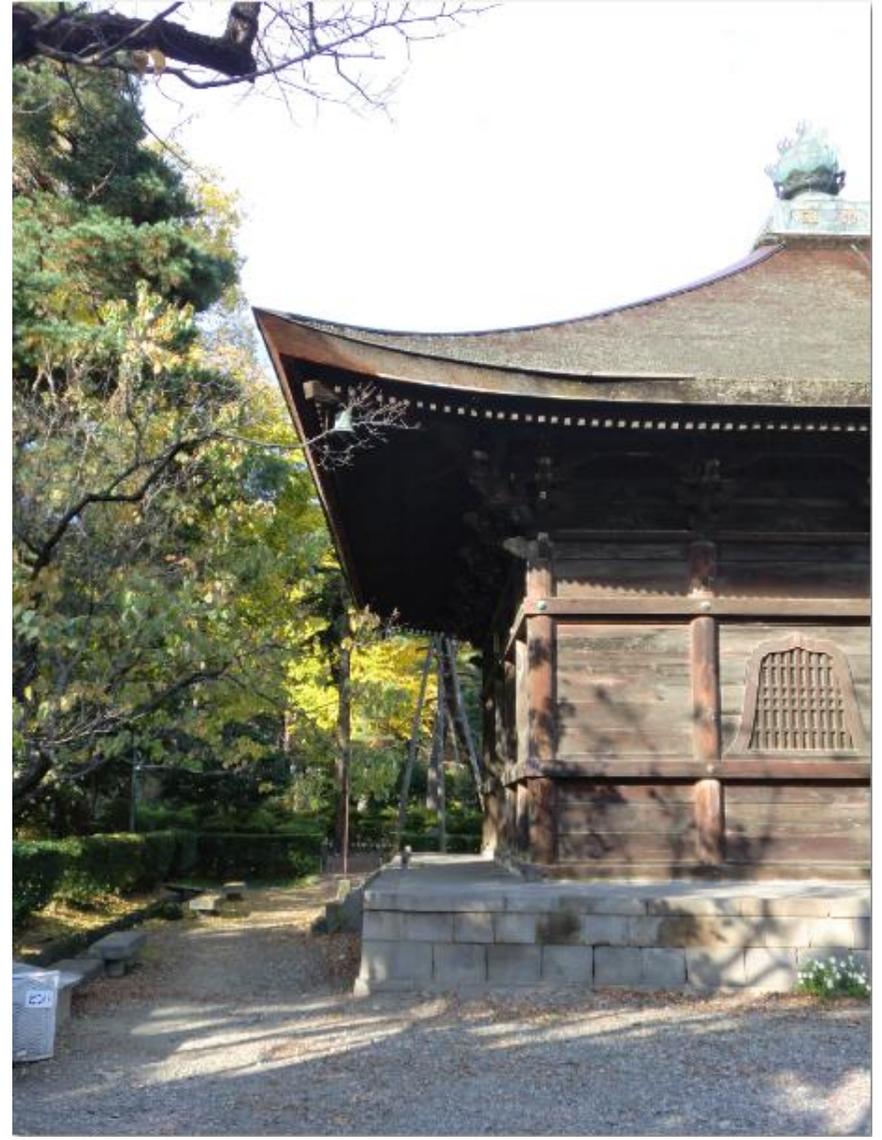
石柱にはめ込まれている車輪状の石（輪廻車）を回すと、諸々の苦悩を抜け出すことができます。



RINNETO (TRANSMIGRATION PAGODA)

윤회탑 / 轮回塔 / 輪廻塔

Rotating the stone wheel (transmigration wheel) may save one from pain and suffering.





第2駐車場  
(富坊専用)

第2駐車場の  
通り抜けは  
できません











山門(重要文化財)



























重要文化財

## 善光寺山門（三門）

江戸時代延享二年（一七四五）に建立が始まり、寛延三年（一七五〇）に落成しました。善光寺本堂ができてから四十三年後のことです。

高さ約二十メートル、正面約二十メートル、奥行き約七・八メートル、入母屋造りの楼門で、檼の丸柱が十八本使われています。

正面に「善光寺」という額が掲げられていますが、これは日光輪王寺の門跡であった公澄法親王の親筆によるものです。

楼上には文殊菩薩騎獅像と四天王立像が安置されています。



入口

山門特別拝観

善光寺



むじな燈籠





## むじな燈籠

昔、下総国（現在の千葉  
県）のむじなが、殺生をしな  
ければ生きていけない自ら  
の罪を恥じ、人の姿に化け  
て善光寺に参詣しました。  
むじなは、善光寺に燈籠を  
寄進したいと願っていました  
が、宿坊でうっかりむじなの  
姿のまま入浴していたとこ  
ろを人に見つかり、何処へか  
逃げ去りました。むじなを  
不憫に思った宿坊の住職  
が、その願いを叶えるため、  
この燈籠を建てたといわれ  
ています。



### MUJINA (RACCOON DOG) LANTERN

무지나 등롱 / 狸灯籠 / 狸燈籠

Long ago, a devotional raccoon dog took the shape of a man and visited Zenkoji, willing to donate a stone made lantern to the temple. So relaxed when he was bathing at a temple inn, he accidentally returned to his original raccoon shape. Found and bawled out, the raccoon was forced to flee. A temple priest pitied the raccoon and donated this stone lantern instead.

宝篋印塔(1397年造立)/伝 佐藤兄弟(義経の忠臣)供養塔







延命地藏尊



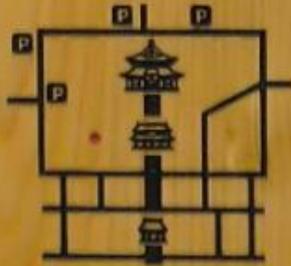
仏足跡





## 仏足跡(仏足石)

お釈迦様の足跡を石に刻んだものです。古代インドで仏像が造られるようになる前から、お釈迦様を表す象徴として礼拝の対象とされてきました。



### BUDDHA'S FOOTPRINT

불족석 / 佛足石

Buddha's footprints are carved into this stone. In ancient India, people have considered his footprints as sacrilegious for them to represent the Buddha himself.

聖徳太子碑





大勸進



山門前



正面は山門



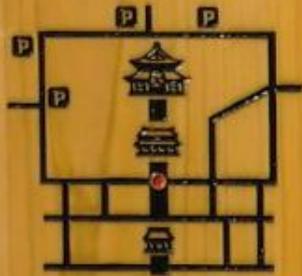
駒返り橋





## 駒返り橋

建久八年（一一九七年）、源頼朝が善光寺に参詣した折、馬の蹄が石橋の穴に挟まってしまい、ここから奥は馬を返して徒歩で入ったと言われています。  
頼朝は火災で焼失した本堂の再建を行うなど、善光寺に深い信仰を寄せていました。



### KOMAGAERI BRIDGE ("Buck off" Bridge)

고마가에리 다리 / 回馬(步行)橋 / 回馬(步行)橋

Shogun Minamoto Yoritomo visited Zenkoji on his horse in 1197. Legend says that a hoof of his horse stuck in a hole of this bridge bucked him off, which made him walk from here to the main hall. Since then even shoguns and emperors have never been allowed to pass through this point on a vehicle.

参道の敷石が長野市の指定史跡になっている



遠方は仁王門







正面は山門



六地藏

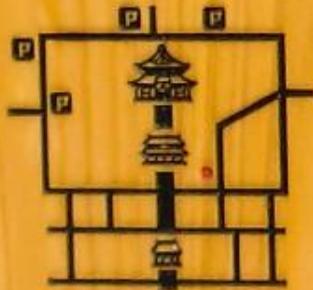






## 六地藏

六地藏は、われわれ衆生が  
輪廻を繰り返す六つの世界  
(六道)に現れ、迷いや苦し  
みから衆生を救ってくださ  
る菩薩です。向かって右か  
ら、地獄界・餓鬼界・畜生  
界・修羅界・人界・天界の地  
蔵菩薩です。地獄界の地藏  
菩薩が蓮台から片足を踏  
み出しているのは、一刻も早  
く衆生を救いに行こうとい  
うお気持ちの顕れだと言わ  
れています。



### ROKU JIZO (Six-Ksitigarbha)

육지장 / 六地藏菩薩 / 六地藏菩薩

Jizo-Bosatsu are very popular among Japanese people. They are our protectors of the next six realms. All souls must transmigrate through realms until they attain enlightenment. Each of these Jizo protects one of the six realms.

The six realms are : Hell, Hungry Ghosts, Animals, Asura, Humans and Heavenly beings.

濡れ仏

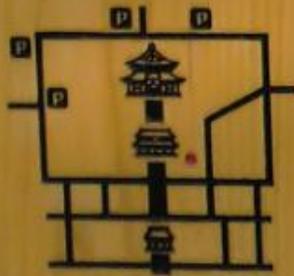




## 濡れ仏

重要美術品

享保七年（一七二二年）に完成した、高さ約二・七メートルの延命地蔵菩薩座像です。六十六部（日本全国を行脚する巡礼者）の供養のため、法誉円信が広く施主を募って造立したものです。江戸の大火の火元として処刑され、のちに歌舞伎や浄瑠璃の題材となった「八百屋お七」の冥福を祈り、恋人の吉三郎が造立したという伝説もあります。



### NUREBOTOKE (WET JIZO)

IMPORTANT ART OBJECT

누레보도레 (옥외 불상) / 露天佛像

This seated bronze figure of Jizo-Bosatsu was fabricated in 1722. The Main Hall had burned down several times in the past, so this Wet Jizo serves as a prayer for protection of the temple from fire.

正面は大勸進







昇り龍王の松







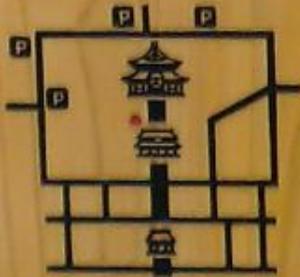
親鸞聖人像





## 親鸞聖人像

鎌倉時代、浄土真宗の宗祖  
親鸞聖人は、越後から東国  
への旅の途中で善光寺に参  
詣され、善光寺如来さまの  
御前に松の枝を供えられた  
と言われています。この故事  
にちなみ、本堂外陣に置か  
れている大きな華瓶には、  
「親鸞聖人お花松」と呼ば  
れる松の若木が今も欠かさ  
ず供えられています。



### STATUE OF SHINRAN-SHOUNIN

신란 성인상 / 亲鸞圣人像 / 親鸞聖人像

A statue of Shinran-Shounin (1173~1262), dedicating a pine branch to the main image (Nyorai). Shinran stayed in Zenkoji for 100 days on his trip from Niigata to Tokyo area. He was the founder of the Shin-Buddhism.









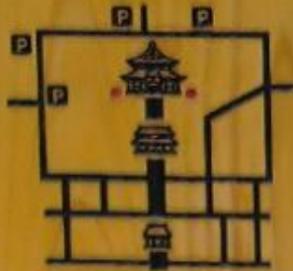
道具塚





## 道具塚 (護法塚)

本堂正面の左右にある大きな石の下には、現本堂の再建工事の際に使われた大工道具が埋められています。向かって右の石を「山王塚」、左を「諸神塚」といいます。



### DOGUDUKA (TOOL TOMBSTONES)

道具舎 / 佛具家 / 佛具塚

The tools which were used to build the present Main Hall are buried under these stones. By burying those tools here, people involved in the construction of Zenkoji have prayed for peaceful repose of the tools' spirits.

千人塚





千人堀の石灯籠  
江戸時代初期の遺構で、  
にせつと石灯籠の遺構を  
の資料を記して置かれた  
等といわれています。また、  
堀の周囲に石灯籠が  
約二十ヶ所あり、これら  
が千人堀の遺構といわれ  
ています。



SHINTO SHRINE MONUMENT

石灯籠(千人堀) 石灯籠(千人堀)  
This monument was built in a place for the shrine of the shrine of 1987. It is a  
small shrine and the site of the shrine is in the shrine of 1987. It is a  
small shrine and the site of the shrine is in the shrine of 1987. It is a

松代藩真田家の古塔

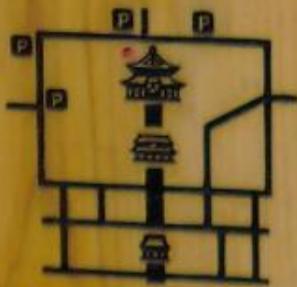






# 松代藩真田家の 古塔

江戸時代に善光寺の外護職を務めた松代藩の藩主、真田家の供養塔です。松代藩は善光寺を保護すると共に篤く信仰していました。境内東部には重臣らの供養塔も現存しています。松代と善光寺とのご縁は今も深く、七年に一度の善光寺御開帳の折には、本堂前に建つ大回向柱の用材を松代町が毎回寄進しています。



## OLD MONUMENT TO SANADA FAMILY

마쓰시로번 사나다가 고탑 / 松代藩主真田家古塔

This monument consoles the feudal lords, Sanada in Matsushiro area who had been in charge of protecting Zenkoji during the Edo era. The people in Matsushiro clan have kept strong faith in Zenkoji. Event today these people hold strong ties with Zenkoji. They will donate a huge memorial pillar at the time of Gokaicho the biggest event of Zenkoji in every 7 years.

高尾燈籠

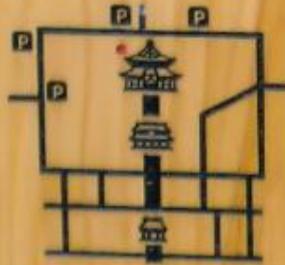






## 高尾燈籠

江戸吉原の三浦屋四郎左衛門が奉納した燈籠です。三浦屋は吉原にあった遊郭で、遊女高尾太夫の供養塔として造立されたと昔より言われております。



### TAKAO LANTERN

다카오 등롱 / 高尾灯籠 / 高尾燈籠

This lantern was donated in Edo era by the owner of a pleasure house called Miura-ya, in the red-light district of Yoshiwara in present Tokyo. It has been said the lantern was dedicated as a prayer for the repose of the spirit of Takao, a famous courtesan of Yoshiwara.